

せいしょうねん



2026. 3

No.84

編集・発行：堺市青少年指導員連絡協議会

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
(堺市子ども青少年局子ども青少年育成部子ども育成課内)
TEL 072-228-7457 FAX 072-228-8341
Eメール: koikusei@city.sakai.lg.jp
https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/hughug/wakamono_shien/shidojn/katsudo.html



堺区二十歳の集いを終えて

堺区二十歳の集い実行委員長 藪内 寛之

令和8年1月12日（月曜日）に堺区の「二十歳の集い」がフェニーチェ堺で行われました。前週の暖かい冬から一変、寒い日の実施となってしまいました。

堺区青少年指導員、堺区役所職員、アルバイトの皆様、総勢100名の方が8時45分に集合しました。二十歳の方も続々と集まり、9時30分に開場すると、ほとんどの皆さんがフェニーチェ堺の大ホールに入場されました。10時に開式し、国歌斉唱のあと、二十歳の若者実行委員の石井様による力強い市民憲章朗読がありました。市長と堺市会議長のビデオメッセージ上映や来賓紹介を行い、清水様による二十歳を迎える若者からのメッセージが発表されました。花束贈呈も、昨年からは西川堺区長様と堺区マスコットキャラクターの「サカエル」が二十歳の皆様に手渡しています。

本年のプログラムでは、大阪府立泉陽高等学校ダンス部による創作ダンスのパフォーマンスに会場全体が大変盛り上がりしました。それに加えて何と言っても堺区内7つの中学校の先生によるビデオメッセージには、会場のあちこちから感激の声がかえってきました。また、その中の一人の恩師の先生が会場に駆けつけてくれて、直接のメッセージを伝えてくれたことには一段と会場が盛り上がりました。

式典終了後には二十歳の皆様も退場に協力してくれて、飲酒やタバコのポイ捨てもなく、安心して閉式を迎えることができました。

また、交通整理、場内警備等にお力添えくださった関係部署の皆様、平山堺警察署長様をはじめとする堺警察署の皆様には本当にお世話になり、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

令和8年（2026年）堺市二十歳の集い 一覽

対象区域	会場	部	参加者数	計	対象者数	参加率
堺区	フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール)	1部	841人	841人	1,348人	62.4%
中区	ソフィア・堺 (教育文化センター)	1部	916人	916人	1,236人	74.1%
東区	初芝体育館	1部	581人	581人	865人	67.2%
西区	ウェスティ (西文化会館)	1部	328人	1,035人	1,412人	73.3%
		2部	368人			
		3部	339人			
南区	ビッグ・アイ (国際障害者交流センター)	1部	1,050人	1,050人	1,259人	83.4%
北区	堺市産業振興センター	1部	1,091人	1,091人	1,525人	71.5%
美原区	アルテベル (美原文化会館)	1部	310人	310人	387人	80.1%
計				5,824人	8,032人	72.5%

二十歳を迎える若者によるメッセージ

今日は、二十歳を迎えた私たちの門出を、このように盛大に祝福していただき、誠にありがとうございます。

今日という日を迎えるまで私たちを導いてくださった先生方や家族、また、二十歳の集いの開催にあたりまして多大なご協力をいただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

振り返ると、この二十年間はたくさんの人との出会いに恵まれ、学びや喜び、時には悩みや失敗も経験してきました。うまくいかない時には、そっと背中を押してくれる友人や、温かく見守ってくださる大人の方々の方がいました。その一つひとつの関わりが、今の私たちを形づくってくれたのだと思います。これから私たちは、それぞれの道を歩み始めます。学業に励む人、社会で働く人、夢を探し続ける人。どんな道を選んでも、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、自分らしく前を向いて進んでいきます。そして、地域の一人としてこの町に少しでも恩返しができるよう努力していきたいと思います。

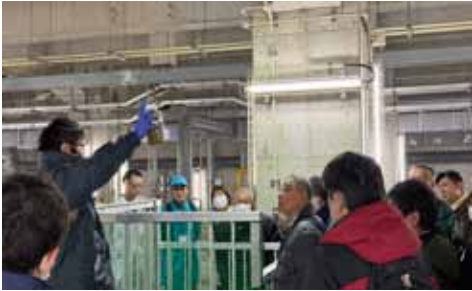
また、二十歳という節目を迎えた今、社会の一員として、言葉や行動に責任を持ち、私たちが支えてもらったように、今度は誰かを支えられる大人へと成長していきたいです。そして、これから出会う人たちにも感謝を伝えられる、思いやりのある人でありたいと思います。

令和8年1月12日
堺区若者実行委員 清水 祐希

令和8年（2026年）堺市二十歳の集い



**施設研修会
「大和川ポンプ場及び
三宝水再生センター」
に参加して**
日置荘西校区 山本 正博



令和7年12月13日（土曜日）に施設研修会に参加させていただきました。大和川ポンプ場では雨水、三宝水再生センターでは一般家庭や事業所から出される汚水を処理する処理施設があり、それぞれの役割について説明を受けましたが、下水道に雨水と汚水の2種類あることを初めて知り、自身の知識のなさを恥ずかしく思うとともに、大変勉強になりました。

また上下水道は、暮らしに不可欠なものです。井戸から上水道への転換・整備が進んだことにより、コレラの感染者数が激減したことや、汚水も様々な微生物により浄化した後、安全に処理されたうえで河川、海に流すなど、衛生及び環境に配慮されたものとなっていました。

さらに災害対策として、昨今は時間雨量50ミリ（バケツをひっくり返したような豪雨）を超えるようなゲリラ豪雨が頻発しています。都市化が進んだ堺市においては、市街地はコンクリートやアスファルトなどで覆われているため、雨水が地中に浸透しにくく、大雨が排水処理しきれずに、道路の冠水や家屋への浸水を引き起こす内水氾濫（洪水）が心配されます。このた

め、地下に貯水池を整備し、豪雨時に下水道管がいっぱいにならないよう雨水を一時的に地下貯水池に貯めることで、地上への浸水を防いでくれています。大和川ポンプ場では時間雨量140ミリにも耐えられるよう設計されているとのことでした。後日、堺市上下水道局のHPを閲覧したところ、同局の理念として「都市活動を支え、健康と暮らしを守る」とあり、まさにその理念どおり、私たちの暮らしや安全を守ってくれているものであると改めて感じたところです。

今回の施設研修会を通じ、その存在が身近過ぎて「あるのが当たり前」だった上下水道施設のありがたさを再認識させていただきました。企画していただいた研修部会の皆様には感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。



令和7年度 堺市青少年指導員会 各区青少年指導員研修会一覧

区	開催日	内 容	参加者数
堺	11月18日 (火曜日)	テーマ:中学校のこどもたちの現状について 講 師:浅香山中学校 生徒指導担当 新稲 悠 様	32人
中	11月17日 (月曜日)	テーマ:中区の少年非行の現状について 講 師:中堺警察署生活安全課少年係 警部補 中村 剛実 様	28人
東	11月13日 (木曜日)	テーマ:東区の中高生の現状について 講 師:橋川 清太 様	34人
西	11月11日 (火曜日)	テーマ:西区の中学生の現状について 講 師:福泉中学校 教頭 鈴木 健史 様	28人
南	11月4日 (火曜日)	テーマ:南区の少年非行の現状と青少年指導員の関わり方 講 師:南堺警察署生活安全課少年係 警部補 有本 祐貴 様	32人
北	11月21日 (金曜日)	テーマ:北区のこどもたちの現状について 講 師:北堺警察署生活安全課少年係 巡査部長 田中 幸男 様	33人
美原	11月20日 (木曜日)	テーマ:地域の青少年(中学生)の様子や実態について 講 師:美原中学校 校長 新田 義政 様	31人

南区青少年指導員 研修会に参加して

赤坂台校区 泊 晋吾



活動は人としての温かみを通じて関わっていく事が大切だと実感した講演でした。

貴重なお話をして頂いた有本様をはじめ準備をして頂いたスタッフの皆様に感謝申し上げます。

令和7年11月4日(火曜日)に「南区の少年非行の現状と青少年指導員の関わり方」というテーマの研修を受講しました。

昨年も同様のテーマで研修会を行いました。繰り返し学ぶ必要がある重要なテーマだと思います。警察などの資料によると昭和58年ころをピークに少年非行の検挙数は減少傾向のようです。平成に入ってからこの傾向は続いていてコロナ禍では更に減少していましたが、令和5年からは少し増加に転じているようでした。これはコロナ禍以降の人流増加によるものと考えられます。これらの全体的な減少傾向については未成年の人口が減って、絶対数が減少しているのが当然ですが、人口比率で見ても減少しているようです。

このこと自体は歓迎されるべき流れではあるのですが、最近では特殊詐欺や薬物事件に巻き込まれるなどの、以前には無かった事案が発生しています。今回お聞きした南区の現状も発生数の推移はほぼ全国的な傾向と同じようですが、窃盗数など犯罪事案は他の地区に比べて多いようです。特に私たち成人にはなじみの少ないSNSでのつながり等で起こる犯罪もあるようなので、問題解決にはハードルが高いと感じます。

今回、講師の有本警部補よりレクチャーして頂いたように少年たちとのコミュニケーションを大切にして関わるといいう事が大事な方法と言えます。その際、大人目線で一方的に意見を押し付ける事は慎むべきだと有本様が指摘した通り、双方向の関係を作ることが肝要である事を学びました。私たちの



西区青少年指導員 研修会に参加して

福泉校区 池側 昌男

現状があり、保護者と密に連絡を取り合いながら学校として関わっている事案をお話ししていただきました。言葉や態度の受け方により双方の思いが行き違い、最終的に学校側が謝罪に至るような現況もあるとお話ししていただきました。様々な問題に対しての学校側の大変さを再度認識させていただきました。

また、参加された方から中学校給食に関する質問があり、生徒の食べ残しが多いという回答がありました。生徒の家庭での好き嫌いが学校給食の場にも表れているのが少し残念です。次に不登校に関する質問があり、「いじめ」「不登校」については、学校側としてはまず現状をしっかりと把握して、当該生徒に対しては丁寧に対応に務めていますとの回答をいただきました。

今回の鈴木先生による講演を聞かせていただき、中学校の現状をごく一部ですが把握できたので、生徒に対する青少年健全育成を踏まえた青少年指導員活動においては、中学校とも連携を取りながら今後の中学校生活の動向に注意していきたいと思ひます。今後も教職員と生徒との交流を踏まえ、生徒たちが良き学校生活を過ごせるよう青少年指導員としてできることに取り組んでいきたいと思ひます。



こどもたちの ふれあい

五箇荘東校区 中野 雅仁

これまで五箇荘東校区では、青少年指導員会主催で小学生を中心とした「流しそうめん」を夏に行ってきました。しかしコロナ禍以降、衛生上の問題や危険な猛暑の影響を考慮し、PTAの活動を含めて様々なイベントが中止を余儀なくされてきました。そんな中でも、何とかこどもたちと直接ふれあうことはできないかということ



で「子どもゲーム大会」の計画が発案されて、実施の運びとなりました。

令和7年10月19日（日曜日）、2回目を迎えた大会では、ダーツ(的当て)や輪投げ・コイン落としなど一般の祭りでもよく見かけるものから、反射神経を鍛える為のバッティングゲーム、昔あそびを応用したけん玉、お菓子釣りの6つのゲームを行いました。当日は70名近い小学生や未就学のこどもたちが保護者の方と参加して下さり、私たち青少年指導員・こども会役員の方たち、そして有志のボランティアの皆様も一緒になって楽しむことができました。ゲームの終了後はノートやロケット鉛筆、お菓子セットなどの参加賞を手に、こどもたちは楽しそうに帰っていきました。

近年、人とのつながりが希薄になりつつあると言われる中、青少年指導員の主軸となる巡回や啓発活動に加えて、将来を担うこどもたちとのこういった交流は極めて重要で必要な活動ではないかと考えます。「子どもゲーム大会」を通して、こどもたちと同じ目線で遊ぶということも青少年指導員会が健全育成に寄与出来ることになると思います。

今後も引続き当校区はこのようなイベントを開催し、こどもたちとのふれあいを大切にしながら活動していこうと改めて思いました。

錦綾校区の 取り組み

錦綾校区 大畑 靖徳

錦綾校区では毎年小学5年生から中学3年生を対象にしたキャンプを行っています。

阪神・淡路大震災や新型コロナ禍の影響で中止にせざるをえない年もありましたが、昨年で41回目を数えました。

過去には50人前後の参加者で実施した年もありましたが、最近は参加対象の児童生徒数の減少もあり10~20人程度の参加者数になっています。

しかし人数が少ない事により、逆にスペース・時間の制約が減ったために体験して貰う事ができる選択肢が増え、こどもたちに大人

数では出来なかったことを体験して貰えていると思います。

また、食事の準備や食事中、川遊びや散策等の活動中に人数が少ないが故に、こどもたち一人ひとりと会話をする機会が増え、校区の他のイベント等で出会った時にこどもたちの方から声をかけてきてくれる事も増えました。

ほかには、こどもたちの人数が少ない事で、人数が多い時には係を決めて仕事の分担をしていましたが、少人数となった今では全ての活動をみんなで一緒に協力して行うことになり、自然と他人と助け合いながら活動ができるようになってきました。

これからも参加したこどもたちが青少年指導員をはじめとした地域の大人たちが見守っていると感じてもらえる様に取り組んでいきたいと思ひます。



令和7年度堺市青少年指導員連絡協議会中央研修会を開催しました



令和7年度堺市青少年指導員連絡協議会中央研修会を令和8年2月17日（火曜日）午後7時からフェニーチェ堺小ホールで開催しました。当日は、平日の夜間にも関わらず135名の青少年指導員に参加いただきました。

今年度の中央研修会では、令和8年4月から自転車の交通違反に青切符が導入されることを受け、研修・対策育成部会で「自転車交通に関してわかりやすく話を聞いてみたい」といったご意見が多くあがりました。そのため、「自転車の安全利用とルールについて」をテーマに、法改正を踏まえた自転車の安全な乗り方や、そのようなルールがなぜあるの

か、法改正されたのは何のためなのかについて、一般社団法人自転車安全対策協議会から白石嘉成様をお招きしてご講演いただきました。

その後、質疑応答では、わかりやすい事例も交えて丁寧に説明をしてくださり、大変有意義な90分間となりました。

また、参加された平尾校区西野様から「私にとってこどもの頃から身近で手軽な乗り物であった自転車が法改正により、自動車同様に気をつけて利用しなければいけないと実感しました。自転車による多様な事故が多発することによる法改正かと思います。これから安全に自転車を利用するためにはとても有意義な講演だったと感謝しています。」といった感想もいただきました。

皆様ありがとうございました。



文化の日の表彰

府下で社会教育の振興に顕著な功績のあった個人や団体に対し、表彰状が贈呈されます。団体として、堺市青少年指導員連絡協議会が表彰されました。

大阪府青少年指導員連絡協議会表彰

府下で青少年の健全育成に多大な功績を収めた青少年指導員に対し、表彰状が贈呈されます。堺市からは次の2名が表彰されました。

東百舌鳥校区青少年指導員会 今村 憲一 金岡南校区青少年指導員会 北嶋 幸一郎

憲法記念日知事表彰

15年以上にわたり青少年活動の普及向上に貢献し、顕著な功績のあった青少年指導員に表彰状が贈呈されます。堺市からは次の4名が表彰されました。

市校区青少年指導員会 桂 春宜 白鷺校区青少年指導員会 藤田 勝之
美原西校区青少年指導員会 山田 勝彦 御池台校区青少年指導員会 西村 保廣

編★集★後★記

日本では実施されていませんが、アメリカでは処分される予定の動物を受刑者が飼い、しつけや世話などをする制度をテレビ番組で知りました。厳しい環境の中で、動物とふれ合う様子が印象的でした。受刑者がそこで責任感や思いやりなどを学び、心が落ち着いて癒されるところに強く感動しました。

人は、自分が必要とされることで、前向きに変われるのだと感じました。また、処分される予定の動物も人の手で大切に育てられ、新しい家族のもとへ導かれていました。これは受刑者の更生と動物の命を救うことの両方が実現されており、非常に意味のある制度だと感じました。日本でも参考のできる部分があるのではないかと思います。

八田荘西校区青少年指導員会の活動では自治会役員、防犯委員、中堺少年補導員の協力により、年間を通して定期的な夜警巡回を行い、地域の安全の一端を担っております。校区内に八田荘公園があり、老人会がグラウンドゴルフをしたり、子どもたちが遊んでいる様子を見守っています。今のところ事件・事故はありませんが、今後も校区の安全が続くように、活動を続けていきます。

八田荘西校区 浦芝 義一